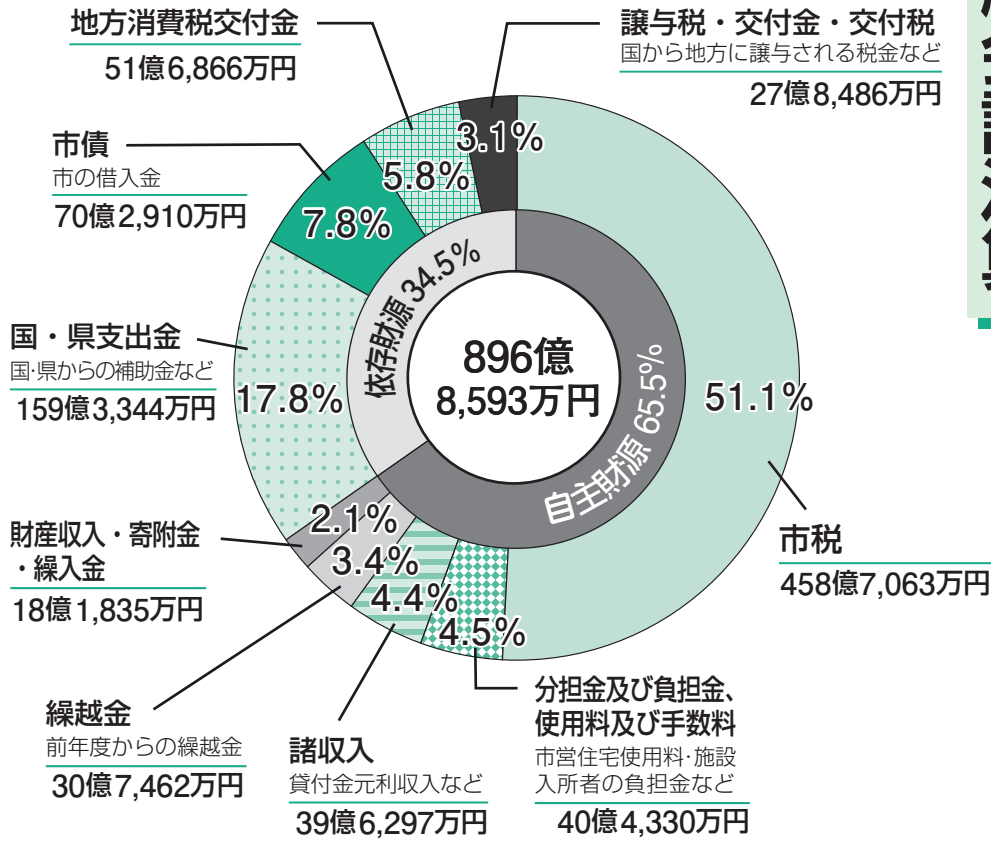


平成27年度 決算報告

一般会計決算

歳入 896億8,593万円



歳入の内訳

区分	決算額	構成比
自主財源	市税	458億7,063万円 51.1%
	個人市民税	146億5,393万円 16.3%
	法人市民税	36億1,676万円 4.0%
	固定資産税	214億1,385万円 23.9%
	軽自動車税	5億2,070万円 0.6%
	市たばこ税	20億4,177万円 2.3%
	都市計画税	36億2,362万円 4.0%
依存財源	分担金及び負担金、使用料及び手数料	40億4,330万円 4.5%
	諸収入	39億6,297万円 4.4%
	繰越金	30億7,462万円 3.4%
	財産収入・寄附金・繰入金	18億1,835万円 2.1%
	国・県支出金	159億3,344万円 17.8%
	市債	70億2,910万円 7.8%
地方消費税交付金	51億6,866万円 5.8%	
譲与税・交付金・交付税	27億8,486万円 3.1%	
合計	896億8,593万円 100.0%	

皆さんの納めた税金が、この1年間でどのように使われたのかを確かめてみましょう。

歳入の5割以上は市税

歳入の5割以上は、市民・企業の皆さんに納めていただいた市税です。平成27年度の市税の決算額は約459億円で、前年度に比べて約7億円の減少となりました。

これは、固定資産税が評価替えに伴い約4億円の減収、法人市民税が税制改正の影響などにより約3億円の減収となったことが主な要因として挙げられます。

歳出は民生費が1位

歳出は、目的別に見ると、福祉関係の費用である民生費が約3割を占め、最も多くなっています。

民生費は、子ども子育て関連経費や生活保護費などの社会保障関係経費が、今後も高水準で推移することが見込まれます。

◆用語の説明◆

歳入

年度内に入ってきたお金

歳出

年度内に使ったお金

自主財源

市が独自に徴収することができるお金。市民税、固定資産税、使用料や手数料など

依存財源

国や県などから入ってくるお金。国庫支出金、県支出金、地方交付税、地方譲与税、地方消費税交付金、市債など

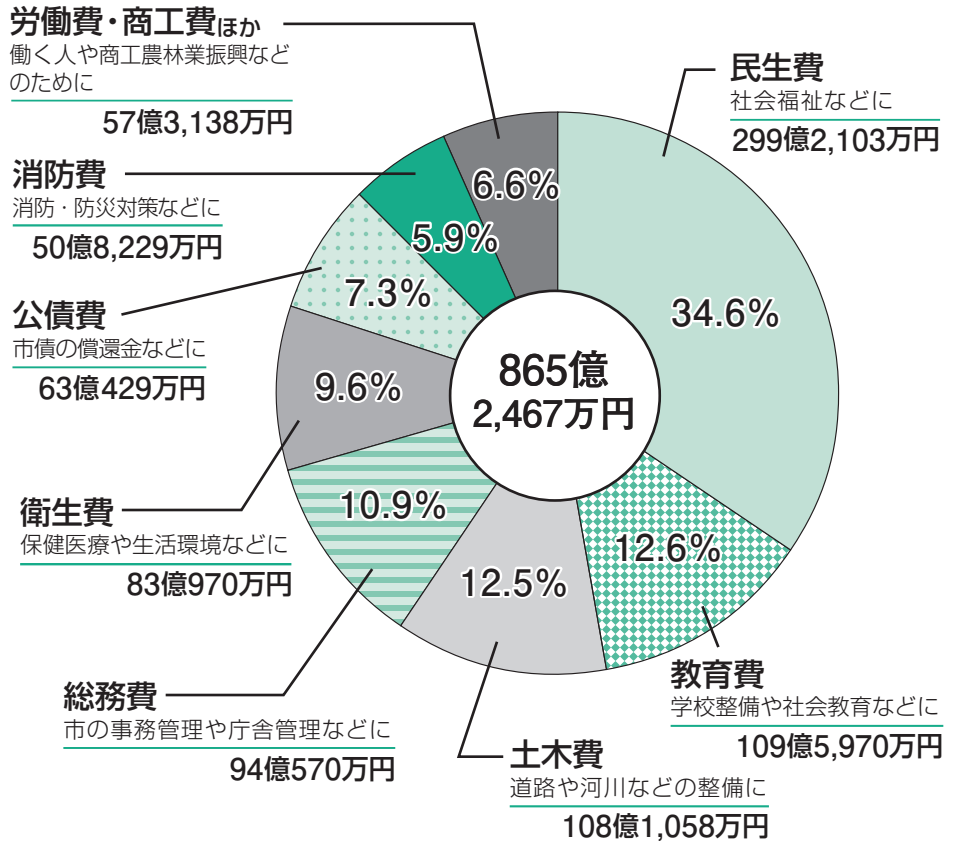
国・県支出金

特定の事業の財源として、国や県から交付されるお金

市債

市が大きな建設事業などを行うために、国や銀行などから長期にわたって借りるお金

歳出 865億2,467万円



歳入 564億円 / 歳出 554億3,653万円

富士市には18の特別会計がありますが、表中では財産管理特別会計(全11会計)を省略しています。

特別会計区分	歳入	歳出
国民健康保険事業	317億2,849万円	311億3,579万円
後期高齢者医療事業	44億113万円	43億9,353万円
介護保険事業	175億4,291万円	173億2,989万円
新富士駅南地区土地区画整理事業	10億5,014万円	10億4,516万円
第二東名IC周辺地区土地区画整理事業	13億442万円	12億9,223万円
駐車場事業	7,138万円	6,750万円
公共用地先行取得事業	9,638万円	9,638万円

特別会計決算

特別会計とは

特定の事業を行うため、一般会計と区分けして設けた会計です。事業収益や一般会計からの繰入金などが主な財源で、行政と一体の経営、運営を行っています。

企業会計決算

企業会計とは

法令に基づき、独立採算を原則に企業の経営で運営される会計です。

水道事業

事業収益合計 28億8,748万円
 事業費用合計 27億5,249万円
 純利益 1億3,499万円

公共下水道事業

事業収益合計 63億3,636万円
 事業費用合計 50億6,227万円
 純利益 12億7,409万円

病院事業

事業収益合計 134億3,015万円
 事業費用合計 135億2,779万円
 純損失 -9,764万円

富士市の財政状況

★矢印は前年度からの変化です。
 ↑…前年度から改善されたもの
 ↓…前年度より悪化したもの

一般会計の市債残高

自治体の借金の残高
 過去最高額は平成8年度の757億円です。
 岩松小学校校舎改築事業など大型事業の影響により、新規借入額がふえたため、増加しました。

699億円→714億円

基礎的財政収支(プライマリーバランス)

市債と繰越金及び基金の取り崩しを除いた歳入と、市債の償還費用と基金積立金を除いた歳出の差
 市税が減収する一方、扶助費等の増加などにより、赤字になりました。

1.2億円の黒字
 →9.3億円の赤字

実質公債費比率

実質的な公債費(市債の元利償還金)が財政に及ぼす負担をあらわす指標

18%を超えると、新たな借金には国の許可が必要になります。
 中央図書館建設時の借入金償還が終了したことなどにより減りました。

3.8%→2.9%

財政力指数

財政の豊かさを示す指標で、国が定めた基準の需要額と収入額の比率

1を下回ると国から普通交付税が交付されず。平成11・12年度を除き不交付団体でしたが、市税の減収により、平成24年度から交付団体になっています。

0.991→0.993

将来負担比率

自治体が将来支払う可能性がある負債の収入に対する比率

市債残高の増加により上昇しましたが、引き続き、早期健全化基準(350%以上)を大きく下回っています。

60.2%→64.2%

経常収支比率

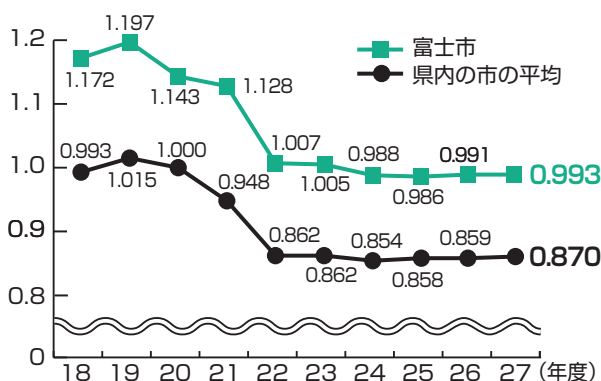
市税など毎年度収入される財源のうち、義務的な経費など、毎年度支出される経費に充てた割合
 県内の市の平均は、平成27年度で84.9%です。

公債費(借金の返済費用)はほぼ横ばいであるものの、扶助費(住民の福祉を支える経費)や物件費(需用費など)が増加したため、上昇しています。

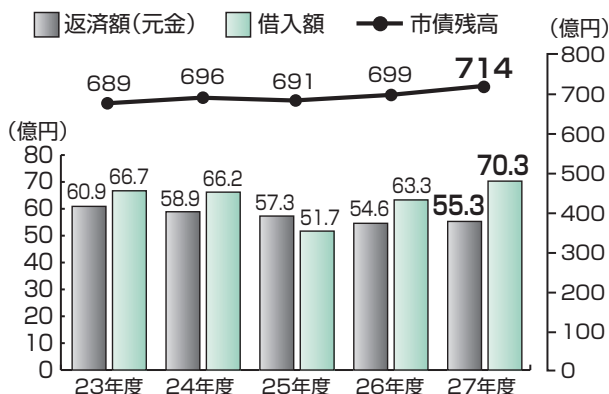
80.5%→81.1%

〈財政状況の推移〉

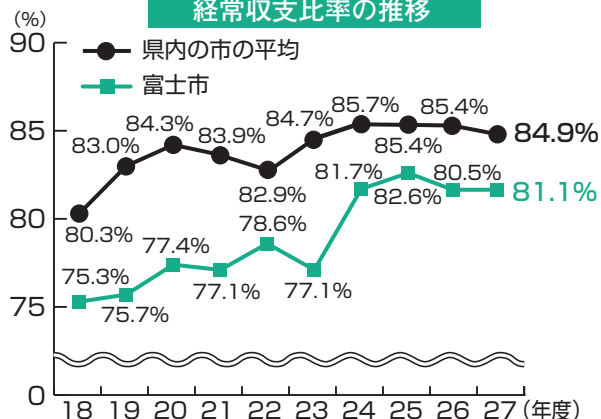
財政力指数の推移



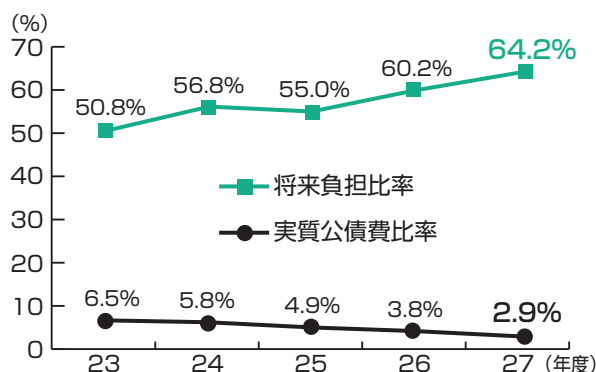
市債の推移



経常収支比率の推移



健全化判断比率の推移



皆さんの税金はこのように使われています

平成27年度実施事業の一部を紹介

民生費

- 臨時福祉給付金給付事業

2億1259万円

市民税均等割非課税の人が対象
(均等割課税対象者の扶養親族等
及び生活保護世帯を除く)。延べ3
万5432人に給付

- 児童手当支給事業

43億9145万円

中学校修了前までの子どもが対
象。延べ40万3281人に支給

- こども医療費助成事業

7億7455万円

中学校修了前までの子ども3万
3838人が対象。延べ51万54
76人に助成

- 私立保育園施設整備助成事業

1億3135万円

認定こども園を整備する事業者
に対しての助成など

教育費

- 岩松小学校校舎改築
事業

16億3592万円

- 富士川第一小学校屋
内運動場改築事業

3億6213万円



富士川第一小学校屋内運動場

- (仮称)富士川第二幼稚園建設事業

6億7731万円

松野こども園建設

- 博物館耐震・リニューアル事業

4億1849万円

本館耐震補強、展示リニューアル

土木費

- 上堀放水路新設事業

4億1621万円

- コミュニティバス等運行事業

5221万円

- 本市場大淵線整備事業

2億3175万円

- 木造住宅耐震補強事業

1億100万円

耐震補強工事を実施する一般世
帯及び高齢者世帯などへの助成

- 若い世代定住促進支援事業

7330万円

若者世帯定住支援奨励金(スミ
ドキU-40)78件

総務費

- 防犯まちづくり事業

6299万円

防犯用街路灯の設置、維持管理
経費の町内会に対する助成など

- まちづくりセンター運営事業

7億9657万円

26か所あるまちづくりセンター
の運営及び施設管理など

- 富士駅南まちづくりセンター建設
事業

1億8564万円

衛生費

- 予防接種事業

6億4623万円

4種混合、日本脳炎、インフル
エンザ、肺炎球菌ワクチンなど

- がん検診推進事業

2億8355万円

受診人数延べ6万9521人

- 浄化槽設置助成事業

1億6329万円

設置数230基

- 新エネルギー・省エネルギー普及
事業

3784万円

クリーンエネルギー自動車など
を導入する市民、太陽光発電や省
エネ設備を導入する中小企業者に
対する助成など

消防費

- 消防車両整備事業

3653万円

高規格救急自動車の更新(西消
防署南分署)

- 富士市・富士宮市
消防指令センター
整備事業

14億8005万円

富士市・富士宮市消防
指令センター



富士市・富士宮市消防指令センター

- 津波対策事業

8154万円

鈴川本町津波避難タワー建設など

- 防災拠点施設整備事業

1億4164万円

防災倉庫建設(八代町)

商工費

- 企業立地推進事業

5億9151万円

企業立地促進奨励金77件など

- 地元消費促進事業

1億4526万円

「ふじさんプレミアム商品券」
販売

- シティプロモーション推進事業

1295万円

「富士山と」運動の推進など

- 富士山活用推進事業

1254万円

富士山登山ルート
3776など

富士山登山ルート



富士山登山ルート3776

決算報告について詳しくは、市ウ
ェブサイトをぐらんどください。

「市ウェブサイト」ぐらんと市政情
報→財政→決算

問い合わせ／財政課

☎(53)0909
☎(55)2725